

# 令和2年度 助産学科 看護学一般 試験問題 (8-1)

識別		試験区分			科目		受験番号			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
H	3	0	0	2	0	1				

解答はすべて番号で答えなさい。

[問題 1] マーサーとウォーカーの文献検討による次の5つの「母親になることを促進する看護介入」のうち、子どもの世話に関する母親の知識を高めることに最も効果があるのはどれか。

1. 乳児の世話に関する指導に焦点を当てた看護介入
2. 母性役割・社会的役割への準備に焦点を当てた看護介入
3. 母親と乳児のアタッチメントを促進することに焦点を当てた看護介入
4. 乳児の相互作用的な能力を認識し敏感になることに焦点を当てた看護介入
5. 相互作用により癒す力を持つ看護師とクライアント関係性に基づく看護介入

[問題 2] 2017年のわが国の乳児死亡率はどれか。

1. 1.5
2. 1.9
3. 2.7
4. 4.1
5. 7.6

[問題 3] 2017年のわが国の妊産婦死亡数はどれか。

1. 12人
2. 33人
3. 56人
4. 75人
5. 100人

[問題 4] 思春期の疾患について正しいのはどれか。

1. わが国の神経性食欲不振症の罹患率は低下している。
2. 若年女性にみられる月経困難症は機能性月経困難症が多い。
3. 若年性機能性子宮出血は、炎症・腫瘍・外傷によっておこる。
4. 思春期早発症は7歳未満で乳房発育、9歳未満で陰毛発生、10歳未満で初経をみる場合をいい、高身長となる。

[問題 5] 成熟期の疾患について正しいのはどれか。

1. 子宮筋腫は40歳代に好発しプロゲステロンに依存して腫大する。
2. 膣カンジダ症は、視診にて膣内に泡沫状の淡黄色膿性の帯下をみとめる。
3. 子宮体がんは、肥満や糖尿病、エストロゲンの単独服用、不妊などがリスクとなる。
4. 多嚢胞性卵巣症候群は卵巣の多嚢胞化、高エストロゲン血症または高LH血症、および月経異常の3つの症状を主徴とする症候群である。

[問題 6] 子宮頸がんについて正しいのはどれか。

1. 初期は無症状で、病変が進むにしたがい機能性性器出血をきたす。
2. 子宮がん検診による早期発見により減少傾向にあるが、閉経後の発生は増えている。
3. 子宮頸部に発生する悪性腫瘍で腺がんが大多数を占め、エストロゲンが発生に関与している。
4. 子宮頸がん予防ワクチンの接種を受けた女性でも、20歳以降は2年に1回の子宮頸がん検診を受けることが推奨される。

## 令和2年度 助産学科 看護学一般 試験問題 (8-2)

[問題7] 配偶者に対する暴力（ドメスティックバイオレンス：DV）に対する認識で正しいのはどれか。

1. DVはめったにない。
2. 暴力を受ける女性の方に何か問題がある。
3. DVは正常に見える夫婦間には存在しない。
4. 本質的なDVとは権力と支配を維持するための戦術である。
5. DVは個人や家庭の問題で外部の人間が介入すべきではない。

[問題8] 性同一性障害について誤りはどれか。

1. 性別違和を主訴とする患者の調査では、自殺関連の経験率が高い。
2. 第二性徴に伴う体の変化に、焦燥感や抑うつ感を持ちやすくなる。
3. 診断は3人以上の、必要な経験と知識を有する医師によって行われる。
4. 当事者の子どもの時の気持ちの調査では、9割近くが誰にも言えず一人で悩んでいる状況である。
5. 人とのかかわり、さらには家族とのかかわりの中でも、ありのままの自分を隠し、違う性の自分を演じざるを得ない。

[問題9] 甲状腺機能低下症の症状はどれか。

1. 頻脈
2. 眼球突出
3. 発汗過多
4. 体重減少
5. 過多月経

[問題10] I型糖尿病について正しいのはどれか。

1. 自己抗体は陰性である。
2. 肥満または肥満の既往が多い。
3. 40歳以上で発症することが多い。
4. 膵β細胞が破壊され、インスリンが枯渇するために生じる。

[問題11] ファロー四徴症について誤りはどれか。

1. 発生頻度は先天性心疾患の3%前後である。
2. 心房のレベルで右→左短絡があり、チアノーゼを示す。
3. 自然予後は、20歳以上の生存率が10~20%といわれる。
4. 生後間もなくからチアノーゼを呈する先天性心疾患のうちでは最も多い。

[問題12] 腎臓の機能で正しいのはどれか。

1. レニンを産生し、赤血球をつくる。
2. ビタミンAの代謝を通して、骨をつくる。
3. エリスロポエチンを産生し、血圧を調節する。
4. ナトリウム量を調整して、体の水分バランスを整える。

[問題13] C型肝炎について正しいのはどれか。

1. 潜伏期は7~10日である。
2. 性行為による水平感染が多い。
3. 感染すると黄疸があらわれる。
4. 約70%は急性肝炎で終わらず慢性化する。
5. 感染防止にはワクチン接種が効果的である。

## 令和2年度 助産学科 看護学一般 試験問題 (8-3)

[問題 14] ERAS (手術後回復力強化プログラム) について正しいのはどれか。

1. 手術前 2 週間は禁酒および禁煙とする。
2. 心不全予防の目的で手術中は十分な輸液を行う。
3. 手術中は感染症防止のため適切な体温保持を行う。
4. 手術後は全身麻酔による十分な疼痛コントロールを行う。

[問題 15] サルコペニアについて誤りはどれか。

1. 一次サルコペニアは加齢のみを原因とする。
2. 高齢者では年齢が高くなるほど有病率が増加する。
3. 身体能力の指標として歩行速度 (0.8m/秒) が用いられる。
4. 筋力の指標として握力 (男性 26kg、女性 18kg) が用いられる。
5. 加齢に伴う筋肉量の減少は下肢に比べて上肢、体幹部が顕著である。

[問題 16] 産後うつ病について正しいのはどれか。

1. 産後 2~4 か月に好発する。
2. EPDS9 点以上の褥婦は産後うつ病と診断される。
3. 10 人に一人の母親が産後うつ病の可能性がある。
4. 重症例であってもなるべく薬物療法は行わないようにする。

[問題 17] 災害医療について正しいものはどれか。

1. 災害派遣医療チーム (DMAT) は、発災から 72 時間後から活動を開始する役割がある。
2. トリアージとは、豊富な医療資源を用いて、優先的に命を救うために最も効果的な治療・搬送の優先順位を決定することである。
3. 1 次トリアージの START 法で、「歩行不可・呼吸数 25 回/分、橈骨動脈で脈が触れる、従命反応なし」はトリアージカテゴリー I と判定する。
4. 災害医療とは、「発災時に、①災害の種類と規模、②被災者の人数と重症度の 2 つの要因により、救急医療体制で取り組む医療」である。

[問題 18] 家族システム理論における重要な概念で正しいものはどれか。

1. 家族成員 1 人の変化は悪い方向に影響を与える。
2. 全体としての家族の力はその部分の総和よりも小さい。
3. 家族は変化に対応しながら安定状態を維持しようとする。
4. 家族内の問題は、円環的な関係よりも直線的な因果関係でとらえる。
5. 家族は社会や個人とつながり、それぞれに単方向に影響し合うシステムである。

[問題 19] 妊娠期の不快感と対処方法の組み合わせで適切なものはどれか

1. 仰臥位低血圧症候群・・・右側臥位をとる。
2. つわり・・・少量の食事を頻回にとる。
3. 静脈瘤・・・固めのマットレスを使用する。
4. 下肢のけいれん・・・弾性ストッキングを着用する。

[問題 20] 早産の定義はどれか。

1. 妊娠 22 週 0 日以降から妊娠 36 週 6 日までの分娩
2. 妊娠 22 週 0 日以降から妊娠 37 週 6 日までの分娩
3. 妊娠 24 週 0 日以降から妊娠 36 週 6 日までの分娩
4. 妊娠 24 週 0 日以降から妊娠 37 週 6 日までの分娩

## 令和2年度 助産学科 看護学一般 試験問題 (8-4)

[問題 21] 妊娠中のヒト絨毛性ゴナドトロピンについて正しいのはどれか。

1. 絨毛性疾患では重要な指標となる。
2. 妊娠黄体を刺激して、ヒト胎盤ラクトージンを分泌させる。
3. 妊娠 16～20 週頃に血中濃度はピークとなり、以降は漸減する。
4. 妊娠 2 週頃には母体尿中に現れるため、初期の妊娠判定に用いられる。

[問題 22] 正常妊婦の生理的変化について正しいのはどれか。

1. 血圧は上昇する。
2. 心拍出量は増加する。
3. 白血球数はやや減少する。
4. 凝固系および線溶系は抑制される。
5. 循環血漿量及び循環赤血球量は減少する。

[問題 23] 胎児附属物について正しいのはどれか。

1. 臍帯内には、2 本の臍静脈と 1 本の臍動脈がある。
2. 臍静脈には動脈血、臍動脈には静脈血が流れている。
3. 妊娠末期に臍帯の全長が 40cm 以下のものを過短臍帯という。
4. 卵膜は、母体由来の絨毛膜・羊膜と胎児由来の脱落膜の 3 層から構成される。
5. 臍帯の偽結節は血行障害を引き起こし、胎児機能不全の原因となることがある。

[問題 24] 妊娠悪阻について正しいのはどれか。

1. 3%の体重減少を認める。
2. 尿中のケトン体が陽性となる。
3. 発生頻度は全妊婦中 5～8%である。
4. ウェルニッケ脳症予防のためにビタミンCを添加する。

[問題 25] 妊娠高血圧症候群の危険因子でないのはどれか。

1. 経産婦
2. 40 歳以上
3. 多胎妊娠
4. 糖尿病合併妊娠。

[問題 26] 前期破水はどれか。

1. 子宮口全開大の頃に破水するもの。
2. 分娩開始以前に卵膜が破綻したもの。
3. 子宮口 5cm 開大の頃に破水するもの。
4. 分娩開始後、子宮口全開大前に破水するもの。

[問題 27] 正常な胎児の分娩機転について正しいのはどれか。

1. 胎児の後頭部が先進する。
2. 胎児の顔は母体の恥骨側を向いて娩出される。
3. 骨盤嵌入時、胎児の背中が母体の背側にある。
4. 肩甲横径が骨盤横径に一致する方向で娩出される。

[問題 28] 26 歳の初産婦。妊娠 37 週 0 日。昨日午後 9 時に陣痛が開始し、本日午前 2 時に入院した。

午後 1 時に羊水の流出感があり、診察で破水が確認され、子宮口は全開大した。その後、午後 3 時 20 分に胎児娩出、午後 3 時 35 分に胎盤娩出となった。分娩時出血量は 600ml であった。

分娩経過のアセスメントで正しいのはどれか。

1. 早産である。
2. 非適時破水である。
3. 分娩時出血量は正常範囲内である。
4. 分娩所要時間は 18 時間 35 分である。

## 令和2年度 助産学科 看護学一般 試験問題 (8-5)

[問題 29] ビショップスコアについて誤りはどれか。

1. 4因子を0から3ないし2で採点する。
2. 合計点数9点以上を子宮頸管成熟とする。
3. 分娩予知の指標として一般的に用いられている。
4. 本来分娩誘発の条件を定めるために設定されたものである。

[問題 30] 胎児心拍モニタリングおける一過性徐脈と原因の組み合わせで正しいのはどれか。

1. 早発一過性徐脈・・・児頭の圧迫による頭蓋内圧亢進に起因する。
2. 遅発一過性徐脈・・・胎盤の低酸素症に低心拍出量が加わり回復が遅れる。
3. 変動一過性徐脈・・・胎盤の循環不全による胎児の低酸素症が原因となる。
4. 遷延一過性徐脈・・・臍帯の圧迫などによる胎児・胎盤循環の悪化が原因となる。

[問題 31] 胎児血 pH の値で胎児アシドーシスの徴候と考えられるのはどれか。

1. 7.35
2. 7.30
3. 7.25
4. 7.20

[問題 32] 産痛について誤りはどれか。

1. 産痛の程度は個人差が少ない。
2. 分娩に対する無知や恐怖は産痛を増す。
3. 子宮ならびに子宮の支配組織、膣、会陰などの痛みの総称である。
4. 分娩介助者による精神的サポートを受けると分娩時の麻酔薬使用が減少する。
5. 産痛の部位は子宮口の開大や児頭の位置により、分娩進行とともに変化する。

[問題 33] フリードマン曲線について正しいのはどれか。

1. 子宮口が全開大近くになると減速期に入る。
2. 潜伏期の長さは、初産婦も経産婦もほぼ一定である。
3. フリードマンは、分娩第Ⅰ期を潜伏期と極期の2つに分けた。
4. 微弱陣痛や過強陣痛などの娩出力の異常を診断するのに活用される。

[問題 34] Aさん。38歳。帝王切開術後の初回歩行時に突然の胸痛、呼吸困難を訴え失神した。  
アセスメントとして考えられるのはどれか。

1. 気胸
2. 喘息
3. 起立性貧血
4. HELLP 症候群
5. 肺血栓塞栓症

[問題 35] 子宮復古不全の褥婦への対応で誤りはどれか。

1. 麦角アルカロイドを投与する。
2. 子宮底の輪状マッサージを行う。
3. 授乳は症状が落ち着くまで控える。
4. 胎盤遺残がある場合は、子宮内容除去術を行う。

## 令和2年度 助産学科 看護学一般 試験問題 (8-6)

[問題 36] 分娩後4日目の褥婦の状態を下記に示す。異常を疑う所見はどれか。

1. 強い後陣痛がみられる。
2. 移行乳の分泌がみられる。
3. 赤褐色悪露が少量分泌している。
4. 子宮底の高さが臍下3横指である。

[問題 37] B型肝炎母子感染防止事業について誤りはどれか。

1. 妊婦健診中のHBs抗原検査で陽性になった妊婦が対象である。
2. 生後9~12か月目安に児のHBs抗原検査とHBs抗体検査を実施する。
3. 出生後12時間以内にB型肝炎ワクチン(HBワクチン)を児に皮下注射する。
4. 出生後12時間以内に抗HBsヒト免疫グロブリン(HBIG)を児に皮下注射する。
5. 生後1か月と6か月の児にB型肝炎ワクチン(HBワクチン)を皮下注射する。

[問題 38] 乳汁分泌の仕組みについて正しいのはどれか。

1. 授乳による吸啜刺激や皮膚刺激はプロゲステロンの分泌を高める。
2. 視床下部から分泌されるプロラクチンは乳汁産生と乳汁分泌を促す。
3. 乳汁分泌を促すためには回数や時間を決めて授乳することが望ましい。
4. 下垂体前葉から分泌されるオキシトシンは筋肉を収縮させ射乳を引き起こす。
5. 褥婦の精神的ストレスを軽減しリラックスさせると、乳汁分泌に関与するホルモンの分泌を高める。

[問題 39] 精神障害合併妊婦について正しいのはどれか。

1. 妊娠・産褥期の精神障害発生頻度は1,000例の出産に対して5~7例とされている。
2. 精神障害合併妊娠は産褥期に約85%が集中しており、特に産後1か月以内が多い。
3. 精神障害合併妊婦の切迫早産・妊娠高血圧症候群・異常分娩などの妊娠合併症の頻度は、正常妊婦と比較して高い。
4. 産褥期は、視床下部-下垂体-卵巣系の機能失調、甲状腺ホルモン分泌亢進が精神状態に影響すると推測されている。

[問題 40] 児をなくした褥婦・家族の看護で適切なのはどれか。

1. 看護者は、なるべくなにごとにもなかったかのようにふるまうほうが望ましい。
2. 家族が、亡くなった児や褥婦とともに過ごすための時間を作ることができるように配慮する。
3. 同じような経験をした人々による相互支援は、悲しみからの回復を遅延させるといわれている。
4. 医学的な事実は、家族にとって過酷なものになる場合もあるので、詳しい説明は避けたほうがよい。

[問題 41] 新生児の機能について正しいものはどれか。

1. 35週を過ぎて出生する児では、胎脂はほとんどみられない。
2. 生後、新生児の血糖は一時的に低下し、生後5~6時間ごろに最低となり、その後上昇する。
3. 胎児期から生後1週間くらいまでは、酵素活性が低いいため肝臓のグルクロン酸抱合の能力は高い。
4. 肺のサーファクタントが十分に分泌される妊娠24週頃に出生した児は、努力呼吸をするようになる。
5. 生後第一呼吸とともに肺胞が開き、肺血管抵抗が低下して肺動脈・肺静脈を介した肺循環が急激に増加する。

## 令和2年度 助産学科 看護学一般 試験問題 (8-7)

[問題 42] 次の文章が説明している原始反射はどれか。

振動や動き、音など何らかの身体に対する刺激で誘発される反射である。児は両手を広げ、そのまま抱きかかえるような動きをする。手の動きと同時に両足も同様の動きをする。

1. 吸啜反射
2. 探索反射
3. モロー反射
4. 緊張性頸反射
5. バビンスキー反射

[問題 43] 新生児溶血性黄疸について正しいのはどれか。

1. 先天性胆道閉鎖症が原因である。
2. 黄疸は生後早期に急激に上昇する。
3. 黄疸のピークの高さや持続の期間は個人差が大きい。
4. 生理的黄疸に比べて緩徐に出現し、黄疸の強さもそれほど高度ではない。

[問題 44] アプガースコアについて正しいのはどれか。

1. 0～1 点は正常と判定される。
2. 剣状突起下の陥没の徴候を見る。
3. 心拍数は 100 回以上/分を 1 点と判定する。
4. 出生直後の児の状態の評価であり、予後判定に用いられる。
5. 刺激に対する反応は、足底の刺激や吸引カテーテルによる鼻腔刺激で確認する。

[問題 45] 出生直後の新生児に対する一般的なケアで正しいのはどれか。

1. 低体温予防のため胎脂を除去する。
2. 臍断端の清潔保持のために、臍を保湿する。
3. 母乳育児継続の目的で、早期母子接触を行う。
4. 気道の確保のために、鼻腔口腔吸引は 10 秒以上行う。

[問題 46] 乳児期の身体生理の発達について正しいものはどれか。

1. 新陳代謝が低く成人に比して体温は低い。
2. IgG の生成は生後 3～4 か月より盛んになる。
3. 乳歯は生後 3～4 か月ごろからはえはじめる。
4. 肋骨は水平位であり、呼吸の型は胸式呼吸となる。
5. 出生直後の血小板は少なく、生後 3 か月ごろに成人とほぼ同じになる。

[問題 47] 定期の予防接種 (A 類疾病) に含まれる疾病はどれか。

1. B 型肝炎
2. インフルエンザ
3. 流行性耳下腺炎
4. ロタウイルス感染症

## 令和2年度 助産学科 看護学一般 試験問題 (8-8)

[問題48] ヒルシュスプルング病について説明している文章はどれか。

1. 小児腹部救急疾患として最も代表的なもので、好発年齢は生後3か月から2歳代である。
2. 大腸の原因不明のびまん性非特異的炎症で、しばしば寛解と再燃を繰り返し、難治性である。
3. 胎生4週から12週における直腸・肛門の発生異常により、正常の肛門が形成されない先天性疾患である。
4. 胎生12週までに粘膜下神経叢が形成される過程が途中でとまり、それより肛門側の腸管壁内神経細胞が欠如する先天性疾患である。

[問題49] 健やか親子21(第2次)の「切れ目ない妊産婦・乳幼児への保健対策の指標」で正しいのはどれか。

1. 自殺死亡率
2. 妊産婦死亡率
3. 人工妊娠中絶率
4. 不慮の事故による死亡率

[問題50] 労働基準法で規定されている育児時間について正しいのはどれか。

1. 父親も取得できる。
2. 1日当たり何回でも取得できる。
3. 児が満3歳になるまでの期間取得できる。
4. 1回の時間は、少なくとも30分とされている。



助産学科 看護学一般 解答

識 別	試 験 区 分				科 目		受 験 番 号			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
H	3	0	0	2	0	1	0			

問題番号	問題1	問題2	問題3	問題4	問題5	問題6	問題7	問題8	問題9	問題10
解答欄	4	2	2	2	3	4	4	3	5	4

問題番号	問題11	問題12	問題13	問題14	問題15	問題16	問題17	問題18	問題19	問題20
解答欄	2	4	4	3	5	3	3	3	2	1

問題番号	問題21	問題22	問題23	問題24	問題25	問題26	問題27	問題28	問題29	問題30
解答欄	1	2	2	2	1	2	1	4	1	1

問題番号	問題31	問題32	問題33	問題34	問題35	問題36	問題37	問題38	問題39	問題40
解答欄	4	1	1	5	3	1	4	5	2	2

問題番号	問題41	問題42	問題43	問題44	問題45	問題46	問題47	問題48	問題49	問題50
解答欄	5	3	2	5	3	2	1	4	2	4

